

国民体育大会バドミントン競技山梨県予選会実施におけるガイドライン

1.大会開催への配慮及び準備に関する留意事項

(1) 大会関係者について

- ・大会参加者は、選手、指導者、競技役員、補助員とし、保護者の入場を認める。
- ・補助員は参加選手の所属する中学高校の部員とします。
- ・二日間、様式1の「参加者健康状態確認シート」の提出を義務付ける。
- ・様式2はチームで記録しておき、主催者から要請があった場合は提出する。
- ・各チーム外部指導者は2名までとする。但し、個人エントリーの選手は1名とする。
- ・大会関係者は常時マスクを着用する。（試合時以外）

(2) 会場内使用する物品について

- ・アルコール消毒を行ってから会場に入り、また試合の前後にも行う。
- ・タオル、飲み物を入れる袋を持参してもらい物品入れは使用しない。

(3) 式典等

- ・開会式は、十分な間隔をとり、競技上の注意などにとどめ、短時間でおこなう。
- ・組合せ抽選は、種別毎に密にならないよう配慮して行う。

(4) 大会会場内に関する確認及び準備

- ・遮光性を考慮しつつ極力ドアを開放し大会を行う。
- ・開場時に人数を区切って入場させる。
- ・下駄箱の利用を禁止する。

(5) 競技会場

- ・コーチングシートは1席とする。
- ・コートのもップ掛けは毎試合後行う。

(6) 競技関係者及び競技中の確認事項

- ・審判はマスクを着用する。（水分を補給を促し熱中症対策を講じる）
- ・選手同士や審判との握手は行わない。
- ・トスは間隔をあけて行う
- ・コールは必要最小限で行う。
- ・シャトルの交換は主審の許可を得て選手が自分で行う。

(7) ごみの処理

- ・各自の持ち帰り自宅で処分する。
- ・大会運営上発生したゴミはマスク・手袋を着用した上で回収し、破棄する。

(8) 観客について

- ・保護者および家族の入場を認めます。来場者される方に、様式3の来場者健康状態確認シートを提出していただきます。（未成年者については保護者の捺印が必要）
- ・**保護者および家族の入場制限について**
 - 18日（山梨市民総合体育館）：選手1名に対し保護者および家族は2名までとする。**
 - 19日（甲州市勝沼体育館）：選手1名に対し保護者および家族は1名とし、試合時に2階ギャラリー（20名まで）に入場を認める。**
- ・来場者自身が身の回りや施設器具の消毒、衛生管理を行う。
- ・常時、マスクやフェイスガードを着用する。（熱中症対策を講じる）
- ・下駄箱の利用を禁止する。
- ・ごみは各自の持ち帰り、自宅で処分する。
- ・観客と競技者（選手やコーチ）の座席を明確に分ける。座席は指定された場所に着席し、間隔を取りながら使用する。
- ・声をあげての応援は行わない。
- ・緊急事態宣言や蔓延防止措置の対象地域からの観客（保護者）については、入場を認めない。

2.大会参加者に関する留意事項

- (1) 様式1の健康状態確認シート（団体用）の提出を義務付ける。
- (2) 様式2はチームで記録しておき、主催者から要請があった場合は提出する。
- (3) 棄権の場合は会場に行かず、協会事務局へ連絡すること。
 - ・チームでエントリーしている場合は、顧問または代表者が報告すること。
- (4) 外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。
- (5) 試合時以外はマスクを着用する。
- (6) 座席は指定された場所に着席し、間隔を取りながら使用する。
- (7) 声をあげての応援は行わない。
- (8) ウォーミングアップは間隔をあけて行う。
- (9) コートサイドにかごは設置しないので自分でバックに入れて飲み物等は持参する。
- (10) ラケット・タオル等の用具の貸し借りはしない。
- (11) 床の汗拭きは、モップを使用する。
- (12) 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- (13) 意識的に試合中の声出しはしない。
- (14) プレイヤー同士やコーチとのハイタッチ等の接触を行わない。
- (15) コーチングは一定の距離を取り、必要最小限に短時間で行う。
- (16) 自分の試合、敗者審判が終了した場合は、原則速やかに帰宅する。